

## PDA 首都圏公立高校即興型英語ディベート交流大会 第1回授業（体験会）

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2018年10月30日（火）15:40-18:00

会場：東京都立日比谷高等学校

参加者：生徒 48名 教員 6名

ジャッジ：PDA スタッフ、東京大学、一橋大学、シドニー大学

助成：公益財団法人 日本財団

セミナー開始前、出張直前にもかかわらず、日比谷高校校長の武内先生がお越しくださりお言葉をいただきました。「生徒の皆さん、ディベート交流セミナーを大いに楽しんでください。英語をアウトプットしたり、論理的に考える難しさはあるかも知れませんが、ぜひ次のモチベーションに繋げていただければ嬉しいです」

PDA スタッフよりパラメンタリーディベートで身に付く力、ディベートのルール、準備時間の使い方などの説明がありました。POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）の説明では、昨年交流大会に出場経験のある二年生の生徒たちから POI のポーズが手本として示してくれました。二年生のリードにより、一年生生徒たちも恥ずかしがらずに



堂々とポーズを決めることが出来ました。そして PDA スタッフによるモデルディベートが披露されました。モデルディベーターは高校生の興味を意識した論題、スピーチを披露することであちこちから笑い声も聞こえ、ディベートって堅苦しいものでなく楽しいものなんだという印象をもってもらえたようです。

第1ラウンドの論題が発表されると準備時間中、生徒たちはチームメンバーと相談して自分たちの主張を固めます。PDA スタッフが生徒たちの様子を伺い必要があればフォローします。第1ラウンドではどの生徒たちも自分たちの言いたいことをしっかりとした英語でジャッジに伝えます。ときどき言葉につまってしまう生徒もいますが、それでも最後まであきらめることなく自分の役割スピーチをすることができました。ラウンドが終わるとジ

ジャッジからのコメントを各生徒になされました。第2ラウンドに活かしてもらおうようにジャッジも真剣にアドバイスを送ります。そして第2ラウンドがはじまりました。第2ラウンドのほう落ち着いて、またジャッジからもらったアドバイスを早速とり入れる生徒もいます。1回目よりも手ごたえを感じた生徒が多かったと思います。



第2ラウンドが終わり、各テーブルのベストディベーター賞に選ばれた生徒から一言コメントをもらいました。とても楽しかった、もらったアドバイスが良かった、またやりたい、といった感想が多く、そのなかでもディベート経験者の2年生の生徒からは、私がよく話していたのは1年間ディベートをやったからです、という1年生に向けた説得力のある激励のコメントもありました。閉会時、PDAスタッフから来年1月におこなわれるパラメンタリーディベート世界大会の紹介があり、そこに出場する自分自身の姿を想像した生徒もいたに違いありません。最後は全員集合の写真撮影で幕を閉じました。

### 生徒の声（アンケートより抜粋）

- ・相手にどう反論するか、議論をどう進めるかを考えたり、チームで意見を出して連携するのがとてもスリリングで楽しかった。
- ・初めて即興型を行い、即興型がもたらす学習的効果の素晴らしさがわかったので、もっと広まってほしいと感じました。
- ・おもしろかったが悔しい気持ちが大きかった。日本語では出てくるのに・・・、や話した後にもあれも言いたかった・・・等 後悔があったのでこれからもっと練習したい。
- ・議論の内容自体がとても楽しかったし、他のクラスの人と仲良くなれて良かった。
- ・2年の先輩方と対戦することができ、上手なディベートを見学することができた。英語表現・語彙力・プレゼンテーション力などの総合競技で実践して楽しかった。
- ・ディベートというもの自体初めてで、とても緊張したし、焦ってしまった。でも講師の方々から詳しくアドバイスを聞けてとてもためになった。
- ・ディベートを2回練習できて良かった。
- ・先生がとてもいねいにアドバイスを1人1人にくださり、自分のためになった。
- ・楽しかったです。もっと練習をして上手になりたいです。アカデミックより楽しい！